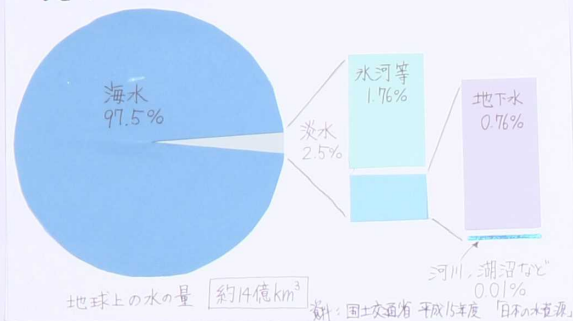
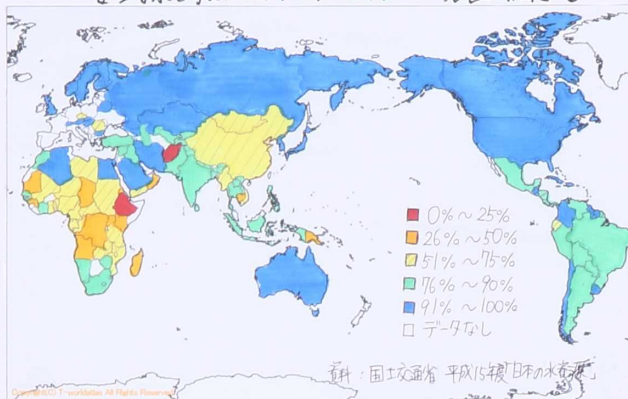


# 安全な水を世界に

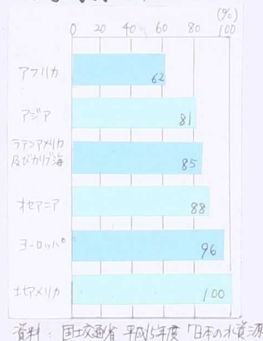
地球上の水



安全な水を手に入れられる人の割合 各国の状況 ↓



地域別の状況



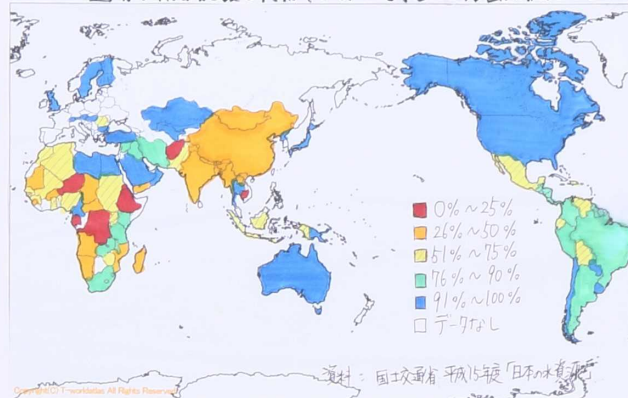
- 地球上の水の大半は海水として存在。
- 淡水の多くは水河や地下水であり、人間が利用しやすい河川・湖沼はわずか。

約12億人が安全な飲料水を得られない。

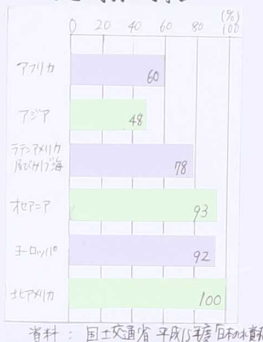
約24億人が下水道等の衛生施設を持っていない。

年間200万の子供が水に由来する病気で死んでいる。

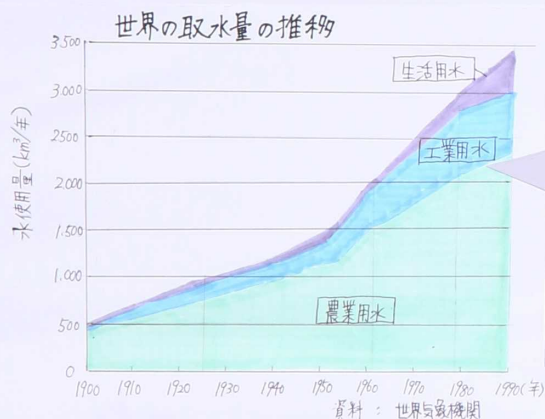
適切な衛生施設を利用できる人の割合 各国の状況 ↓



地域別の割合



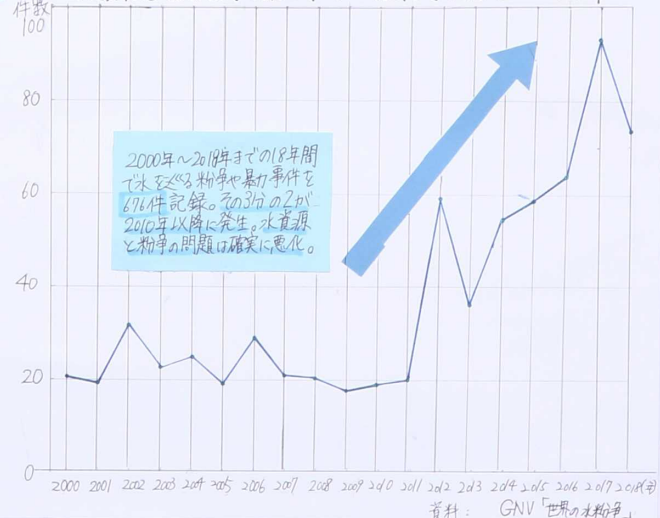
## 水不足の主な原因



私生活の豊かさは生活を支えるための水の使用量を増加させた。特に食物を増産するための消費量は約100年前の10倍以上になっている。

「20世紀は石油粉争の時代だったが、21世紀は水粉争の時代になる」  
 (セアゴライ: 元世界銀行副総裁)

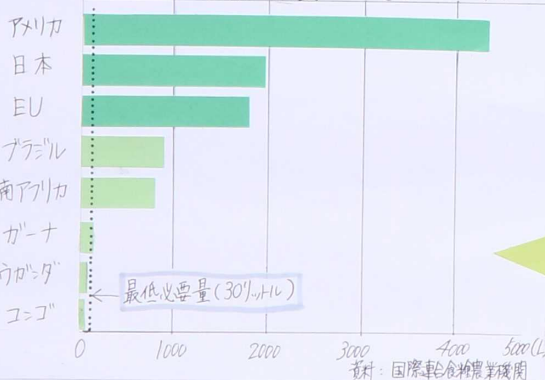
水資源を巡る粉争と暴力事件の推移 (件数) 2000~2018年



## 私たちにできること

- 「節水を心がける。食器洗いや洗顔は水をためて使用する。節水コマを使う。なび工夫はたくさんできる。
- 食器の油などは紙などでふいてから洗うなど生活排水の汚れを減らす。

各国の水資源消費量 (一日あたり)



アメリカや日本、EUなどの先進国の水の大消費量は輸入にたよっている。日本はその生産に必要な水を間接的に消費していることになる。(「仮想水」日本の輸入品のために使われている仮想水は約800億トンになる。私たちの普通の生活のために想像以上に発展途上国の人々の生活を破壊している。)

## 感想

今回世界の水について調べてみて、改めて自分たちが多くの水を使用していることや、水に困っている人がたくさんいると知った。これからは自分にできることをしっかりと行なっていこうと思う。

## 安全な水が手に入るようになる...

- 水が安定して手に入るようになるには、これは水汲みのための学校に導水なかわた子どもたちにも教育の扉が開く。
- 安全な水が使え身体や衣服も清潔に保てるようになったら、病気がかりにならなくなる。
- 学校の読み書きはもちろん、石炭を使った手洗いなどの衛生設備が具につく。